



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

うるわし通信

平成27年6月

しんどい思いをさせないで…

4月号で桜井には残念ながら、まだ女性の社会進出を阻む意識が残っていると結論づけましたが、社会面ではどうなのかと『女性の賃金が安いワケ～労働市場における女性～』という講座を受講しました。

現代労働市場は大きく変化し、非正規雇用が4割近くに迫り、このうち女性の占める比率は7割です。

運よく正規雇用となっても、女性のライフスタイルである結婚・出産・家事・介護の問題が介在して賃金格差は大きく、こうした問題により、一旦退職した後の再就職では女性は圧倒的不利で、まず非正規雇用を覚悟しなければなりません。

非正規雇用者には、県ごとの最低賃金があります。これは最低賃金を保証するという役割を遊離して、最低のものを与えていれば良いという圧力になっているのが現状です。

講座では待遇改善の今後の論点として

- ①労使トップ層の男女間賃金格差に対する意識の低下
- ②職務評価(内容を数式・数字で示す)
- ③労働運動・社会運動の役割
- ④貧困・格差社会といわれる中で労働条件低下への歯止め策があげられました。

以下はわたしの感想です。同一企業内で正規・非正規雇用者の間に格差があるのは差別を生む温床になりはしないか、とても心配です。これには労働組合が本来の役割を果たしてないのではないか、との疑問も持ちます。

勿論、最大の責任は使用者にあります。賃金レベルを上げるとともに、高額所得者・高収益企業には高額な税金を課す。それを育児・介護の施設の増強や住宅手当・出産補助金・子どもの医療費無償化へ廻すことを政府は真剣に取り組むべきです。

地方行政としても、女性のライフスタイル(出産・育児・家事・介護)を支援しなければ、貧困は深まるばかりです。

日本の貧困率(国の平均所得に対して半分未満しかない世帯の割合)は、メキシコ・トルコ・アメリカ・に続いて第4位の14.9%です。(2008年資料)

わたしたちは女性差別をなくすことが社会問題と深くつながっていることを自覚せねばなりません。

浅川 肇



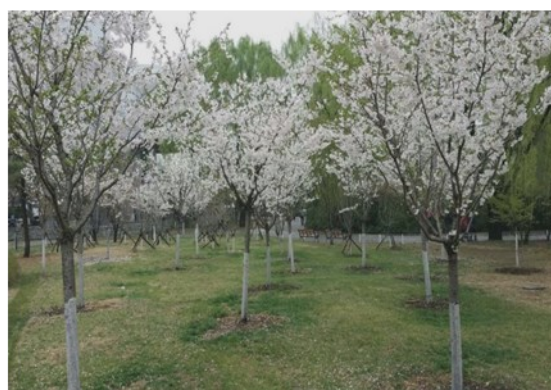
友好の桜は今年も満開！

特定非営利活動法人 日中友好さくらの会 代表 石井一好

今年4月、桜の名所として知られる北京の玉淵潭（ユイイエンタン）公園を訪問してきました。10元（約170円）の入園料を払い、大勢の花見客に交ざって進むと、無数に植わった桜がすでに満開になって出迎えてくれます。

同公園の桜は43年前に日中国交正常化の際に日本から贈られた桜が植えられた公園で、現在ではその数20品種2千本、桜祭りの期間は1日20万人が来園する北京での桜の名所となっています。日中友好さくらの会も公園の桜の生育と維持管理に協力しております。

尖閣諸島をめぐる対立、靖国神社参拝で日中関係が悪化するなか、日本の贈り物をどう思っているのか、気になるところだが、多くの方は日中友好の桜だと知って来園しており、桜の花は今年も満開に咲いています。日中の対話のドアが早く開くことを願っています。



当会が公園内に植樹した桜（2015年春）

われわれは民間レベルでの国際・文化交流を展開して日中の友好に寄与したいと考えており、最近では、日本と中国との各グループ間の交流活動のお手伝いをしています。

例えば、中国登山協会・北京市登山協会と日本の山梨県登山愛好者グループとの交流の橋渡しを行ない、まずは富士山登山を実現させました。また、中国河北省の藁城市材木市場の方々の訪日団を招聘して、桜井にも関係のある材木を通じた交流も企画しております。

当会では会員の募集も行っていますので、関心のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

事務局（石井）：桜井市戒重32 TEL/FAX (0744)42-2928
E-mail kazuyoshi-ishii@kcn.jp <http://web1.kcn.jp/sakura-no-kai>

桜井市生活学校の活動

桜井市生活学校委員長 小西 笙子

桜井市生活学校の行事には、いつも40～60名集まります。何故でしょうか？ 総会に出席しない人の年会費（1000円）を集めるのは、大変です。そこで私のした事は、欠席された方、全員にTelしました。

今後、生活学校で活躍されるのか？ どうか？ 直接聞きました。その気持ちの無い方が81名中5名おりました。すぐに脱退していただきました。名前だけの会員は、要りません。年会費を最寄の役員に届けるように手配しました。76名×1000円は、瞬く間に集金できました。たった6万円の市からの補助金では、やりくりが大変です。役員会では、会員が喜んで参加し、いかにコミュニケーションがとれるか、どうか？ を考えて企画します。



等彌神社の社務所にてクレソン鍋

総会には、公民館活動の仲間の太鼓・フラダンスをアトラクションとして、披露していただきました。5月17日の県内学習では、等彌神社にて参加者全員で正式参拝を行い。社務所で桜井市鹿路地区の夢咲花（ゆめさか）で採れたクレソンを鍋にして食べながら神社の由来を宮司にお話いただきました。その後、同じ鹿路地区の山野草園「鹿華苑」を訪れ、ミズバショウ・シャクナゲ・クリンソウなどの花木・野草の観察会です。続いて、高家地区に建設中の「なら食と農の魅力創造国際大学校」の見学です。校舎を眼下に眺め奈良県一の眺望を満喫しました、初めて来られた人達ばかりで、喜んで貰いました。

オープン後には、併設されるオーベルジュで食事を囲み、女性の地位向上の講演を考えております。

興味のある方は、是非この機会に入会して、人生を謳歌しましょう。記念写真をご覧ください。

連絡先（小西）桜井市西之宮228-59
TEL/FAX (0744)43-1415
E-mail konishi_shoko@yahoo.co.jp



建設中の「なら食と農の魅力創造国際大学校」

事務局だより

- 平成27年度定時総会を6月13日(土)午後1時より桜井市立図書館にて開催します。
- うるわしの桜井をつくる会 公開講演会
平成27年6月13日(土)午後2時より定期総会終了後、桜井市立図書館にて開催します。
演題 「まちづくりに関する包括協定」 in桜井市 奈良モデルと桜井市の役割について
講師 林 功 氏 (桜井市理事)

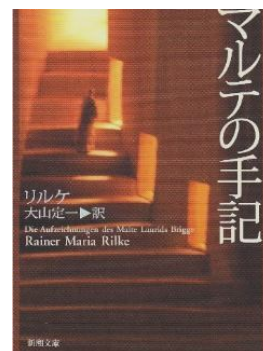
- ①奈良モデルとは
- ②まちづくり基本構想策定地域
中和幹線粟殿周辺地域
(医療・福祉・防災の新拠点施設)
大神神社参道周辺地区
近鉄大福駅周辺地区
桜井駅周辺地区
長谷寺門前町周辺地区

意見交換会 地域代表者の参加による意見交換会
コーディネーター 岡本 健
うるわしの桜井をつくる会常任理事
MUフロンティアサービサー



お知らせ

- 図書館友の会
6月の読書会は、『マルテの手記』リルケ著を読みます。
青年作家マルテをパリの町の厳しい孤独と貧しさのどん底におき、
生と死の不安に苦しむその精神体験を綴る詩人リルケの魂の告白。
日 時 6月23日(火)午後1時30分から
場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先 浅川 肇 TEL: 090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



後記 前号でお知らせした、大福吉備での外国人留学生ホームステイは、双方とも好評のうちに終わりました。大成功でした。

今年は敗戦後70年目です。人種差別撤廃条約が国連で採択されてから50年目、日本の批准は大きく遅れ、今年で20年目。女性差別撤廃条約の批准から30年目。形式は整っていますが、桜井市での取り組みは、うまくいっているのか、気がかりな節目の年です。(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345